

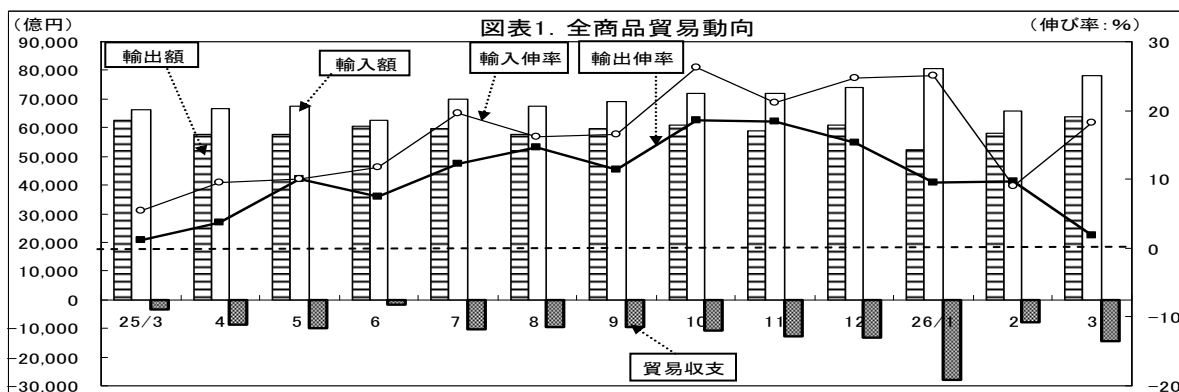
最近の機械貿易動向(3月)～機械輸出大幅鈍化、為替要因除けばマイナス成長～

日本機械輸出組合 2014.5.12.

平成26年3月の機械輸出額は4兆1,093億円、対前年同月比2.0%増と11ヶ月連続でプラスとなったが、大幅鈍化した。これは、①円安要因の縮小による増加率の減少、②北米、NIES/ASEAN 向けの大幅鈍化、③機械輸出額の約33%を占める自動車の伸びの鈍化や、電子デバイス、船舶等が減少したことなどによる。為替・営業日が5.5%の増加要因であったことを考慮すると、実質的な伸び率は3.5%減と再びマイナスとなった。4月も円安は鈍化し、4.5%の為替増加要因となる。仮に3月の機械輸出額の実質的伸び(3.5%減)が続くとすれば、前年比1.0%増と予想されるが、4月28日発表の貿易統計速報によれば、4月上中旬の全商品輸出は2.8%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は13ヶ月連続でプラスも大幅減、輸入は再び二桁増に～

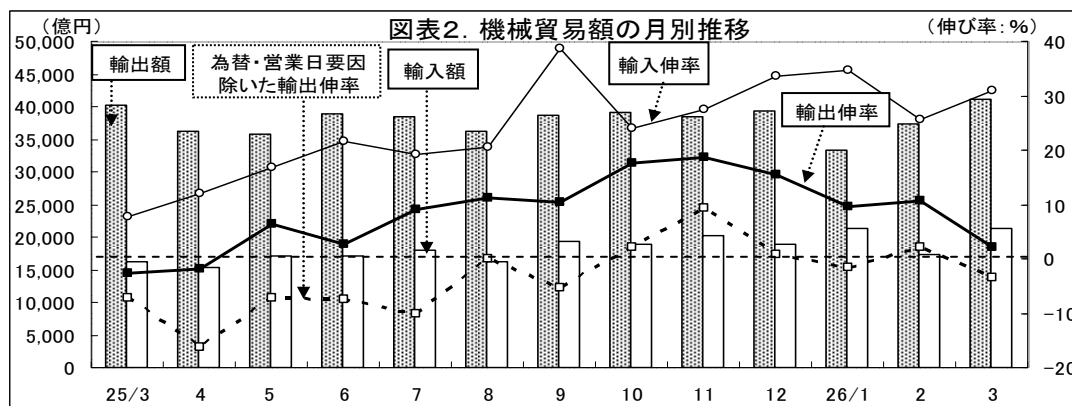
- 平成26年3月の全商品輸出額は**6兆3,836億円**、前年同月比(以下同じ)**1.8%増**と13ヶ月連続でプラスとなったものの(2月9.8%増)、伸び率は大幅に鈍化した。これは、円安要因の大幅縮小、全輸出額の約23%を占める輸送用機器(2.4%増)をはじめ、約21%を占める一般機械(2.3%増)、17%の電子部品・電気計測機器等電気機器(0.4%増)等の増加が伸び悩んだためである。
- 輸入額は**7兆8,295億円**、**18.1%増**と2ヶ月ぶりに二桁増となり(1月9.0%増)、再び輸出の伸び率を大きく上回った。これは、全輸入額の約36%を占める原粗油等鉱物性燃料(14.8%増)をはじめ、13%の電子部品・通信機等電気機器(30.3%増)、8%の電算機等一般機械(33.0%増)、4%の自動車等輸送用機器(31.2%増)等が大幅に増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は1兆4,460億円の赤字で、再び1兆円を上回り、3月としては1979年以来最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出大幅鈍化、輸入は8ヶ月連続で20%超増加～

- 全商品輸出額の約64%を占める3月の機械輸出額は**4兆1,093億円**、**2.0%増**と11ヶ月連続でプラスとなったものの大幅に鈍化し(1月10.7%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年3月)と比べると**78.2%**となり、前月より0.5ポイント後退した(2月78.7%)。
- 一方、全商品輸入額の27%を占める機械輸入額は、**2兆1,265億円**、**30.9%増**と19ヶ月連続の増加で、8ヶ月連続で20%を超える高い水準が続いている(2月25.6%増)。また、輸入額は、平成20年3月の**124.2%**と、12ヶ月連続してリーマンショック前の水準を上回っている(2月116.7%)。

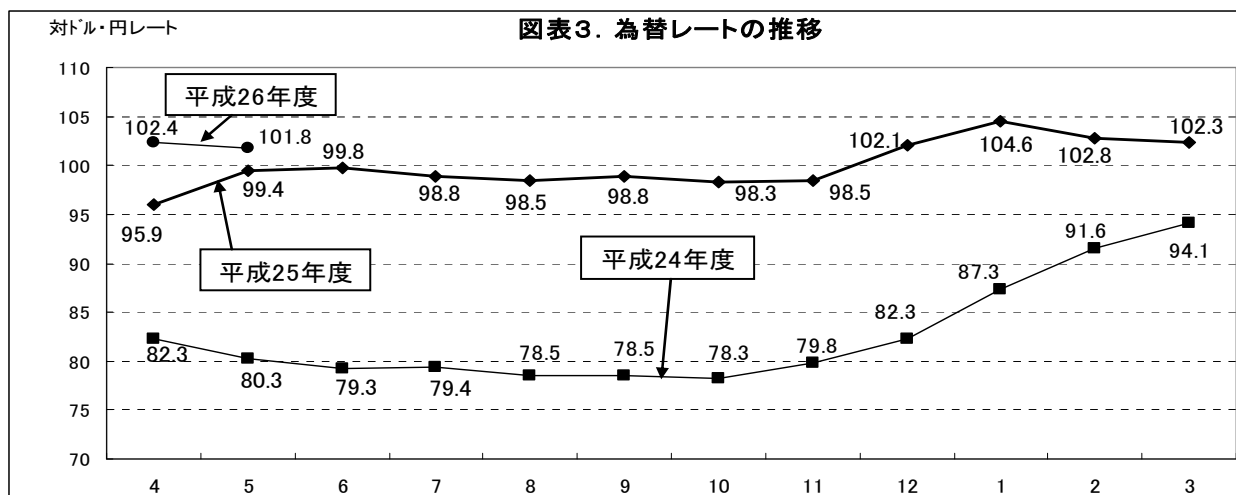


(2) 為替動向・営業日～3月は5.5%の増加要因、4月は4.5%の増加要因～

1) 3月は1ドル=102.3円と円高是正がやや弱まり、前年に比べ8.7%の円安となった。また、対ユーロも140.9円と前年に対して14.2%の円安となり、合わせて約5.5%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計5.5%の増加要因となる。3月の輸出額は2.0%増であったことから、実質的伸び率は3.5%減と再びマイナスになった(2月2.1%増)。

2) 4月は1ドル=102.4円と円高是正傾向が続き、前年に比べ6.8%の円安となった。また、対ユーロでは141.4円で前年に対し14.1%の円安となり、合わせて約4.5%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じであるため、合計4.5%の増加要因となる。

3) 5月は、対ドルが5月8日17:00時点の101.8円とすれば、前年に比べて2.4%の円安、また、対ユーロも141.7円と9.3%の円安となり、合わせると約1.8%の為替増加要因となる。営業日は前年より1日少ないため、4.8%の減少要因となり、合計で3.0%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～EU向けが二桁増を維持する一方、その他地域向けは2ヶ月ぶりにマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①機械輸出額の11.1%を占めるEU向けは、全体の約32%を占める自動車(35.4%増)をはじめ、分析・試験・検査機等軽機械(22.5%増)、建設機械(27.6%増)、電子デバイス(21.1%増)が大幅にプラスとなり、12.2%増と10ヶ月連続でプラスとなった。②17.2%を占める中国向けでは、半導体製造装置等産業機械(12.8%増)、自動車(21.6%増)、光学機械(9.3%増)等が大きく伸び、8.4%増となり、③22.9%を占める北米向けでは、全体の約45%を占める自動車(3.3%増)をはじめ、産業機械(5.9%増)、重電気機械(5.1%増)等が増加して1.4%の増加となった。④27.0%と最大輸出先であるNIES/ASEAN向けでは、台湾(9.7%増)、香港(14.2%増)、ベトナム(18.3%増)が大幅増加となったものの、タイ(15.3%減)、インドネシア(16.3%減)向けが二桁減となり、業種では、産業機械(8.4%増)が大幅増加したものの、自動車(15.8%減)等が大幅に減少して0.1%増となった。

2) 他方、機械輸出額の21.7%を占めるその他地域向けは、中近東(19.7%増)向けが大幅増加になったものの、中南米(11.7%減)、アフリカ(22.3%減)、インド(10.7%減)向けが二桁減となり、機種では、全体の約55%を占める自動車(3.1%増)が増加したものの、船舶(15.5%減)、産業機械(10.8%減)、建設機械(17.1%減)が大幅に減少して3.9%減となった。

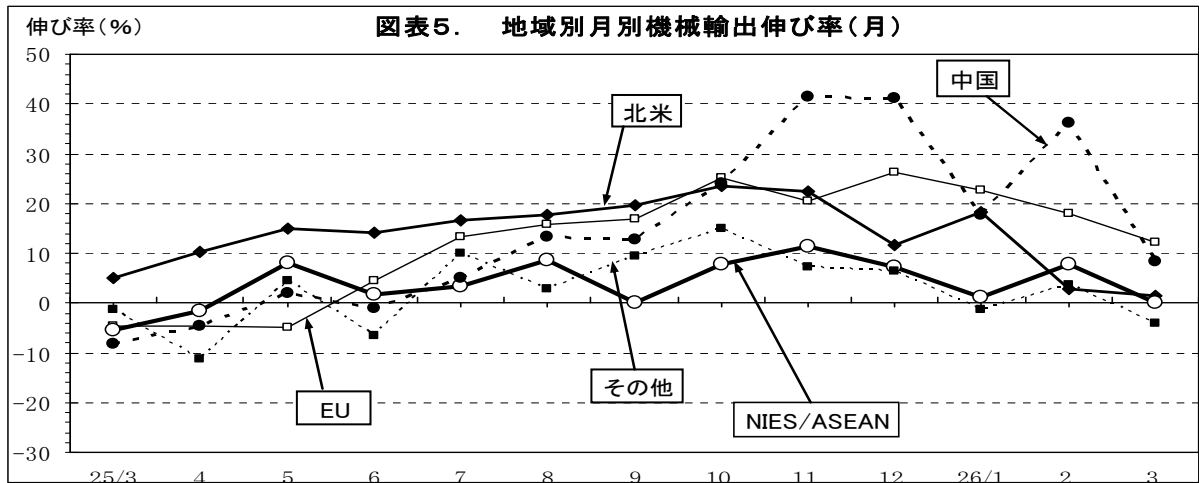
3) また、リーマンショック前の平成20年3月の地域別輸出額と比較すると、中国(106%)はプラスとなったものの、北米(86%)、NIES/ASEAN(85%)、その他地域(68%)、EU(53%)は、いずれも水準以下であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2014/1			2014/2			2014/3			対08年 3月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	33,223	9.5	100	37,334	10.7	100	41,093	2.0	100	0.78
北米	8,562	18.4	25.8	8,919	2.9	23.9	9,426	1.4	22.9	0.86
EU	4,365	22.6	13.1	4,323	18.0	11.6	4,580	12.2	11.1	0.53
NIES/ASEAN	8,494	1.2	25.6	9,794	7.8	26.2	11,090	0.1	27.0	0.85
中国	4,844	17.7	14.6	6,388	36.1	17.1	7,064	8.4	17.2	1.06
その他	6,958	▲1.2	20.9	7,911	3.8	21.2	8,932	▲3.9	21.7	0.68

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別)(金額単位:億円)

国名	2013/12		2014/1		2014/2		2014/3	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,741	3.5	1,472	▲ 2.9	1,810	8.6	2,039	▲ 0.9
台湾	1,937	18.1	1,521	8.7	1,633	14.0	1,933	9.7
香港	1,578	14.4	1,184	▲ 0.3	1,472	34.2	1,648	14.2
タイ	1,718	▲ 12.1	1,396	▲ 14.2	1,562	▲ 13.0	1,721	▲ 15.3
シンガポール	833	16.2	746	7.5	878	35.5	969	2.4
インドネシア	932	17.4	758	11.1	757	▲ 13.3	855	▲ 16.3
マレーシア	767	4.3	583	9.0	673	▲ 2.4	801	4.8
フィリピン	489	▲ 0.4	448	4.2	513	8.0	531	1.8
ベトナム	483	26.3	320	21.2	407	33.8	484	18.3
その他地域								
中南米	1,984	4.4	1,880	▲ 26.9	2,319	12.7	2,660	▲ 11.7
中近東	1,917	23.9	1,627	29.8	1,848	19.3	2,093	19.7
大洋州	998	▲ 9.7	1,078	14.8	1,077	▲ 9.9	1,300	▲ 6.3
ロシア東欧等	1,060	8.3	1,335	13.3	1,368	0.5	1,457	▲ 0.2
アフリカ	584	0.8	609	▲ 9.8	814	▲ 14.4	721	▲ 22.3
インド	374	▲ 17.5	317	▲ 13.7	317	▲ 18.0	433	▲ 10.7

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種中7業種マイナス、自動車12ヶ月連続プラス、二桁増は繊維機械のみ～

- 業種別では、全19業種中7業種がマイナスとなり、前月より5業種増加した。全体の約33%を占める自動車(4.7%増)が12ヶ月連続、約18%の産業機械(6.1%増)が11ヶ月連続でプラスとなったほか、繊維機械(31.6%増)が12ヶ月連続で20%を超える高い伸びとなった。他方、船舶(17.9%減)、建設機械(14.2%減)が二桁減となった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは医療機械、光学機械、ベアリング、繊維機械の4業種で、電子計算機、産業車両、民生用電子機械が40%台、通信機械は50%台の低い水準にある。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2014/1				2014/2				2014/3				対08/3比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	11,715	12.6	35.3	自動車	12,996	4.9	34.8	自動車	13,633	4.7	33.2	0.75
産業機械	5,508	12.7	16.6	産業機械	6,648	17.4	17.8	産業機械	7,462	6.1	18.2	0.91
電子デバイス	2,547	7.9	7.7	電子デバイス	2,663	8.5	7.1	電子デバイス	2,906	▲ 3.8	7.1	0.72
軽電気機械	1,659	11.6	5.0	軽電気機械	1,886	11.0	5.1	重電気機械	2,168	3.2	5.3	0.99
船舶	1,579	▲ 31.2	4.8	重電気機械	1,825	15.0	4.9	軽電気機械	2,097	1.0	5.1	0.79
重電気機械	1,564	14.0	4.7	船舶	1,770	17.0	4.7	船舶	1,856	▲ 17.9	4.5	0.62
軽機械	1,223	12.3	3.7	軽機械	1,435	17.9	3.8	民生用電子機械	1,574	▲ 1.1	3.8	0.49
民生用電子機械	1,205	1.5	3.6	民生用電子機械	1,328	8.0	3.6	軽機械	1,548	5.7	3.8	0.82
光学機械	1,197	10.7	3.6	光学機械	1,317	16.5	3.5	光学機械	1,477	4.4	3.6	1.12
建設機械	860	30.7	2.6	建設機械	901	▲ 2.1	2.4	建設機械	1,163	▲ 14.2	2.8	0.60
工作機械	620	▲ 2.9	1.9	工作機械	741	9.8	2.0	工作機械	910	2.8	2.2	0.87
通信機械	457	25.5	1.4	通信機械	468	12.8	1.3	通信機械	530	9.3	1.3	0.54
電子計算機	392	5.8	1.2	電子計算機	405	▲ 7.6	1.1	電子計算機	495	▲ 6.5	1.2	0.46
ベアリング	356	30.0	1.1	ベアリング	387	20.5	1.0	医療機械	472	5.4	1.1	1.58
陸用内燃機関	308	13.0	0.9	陸用内燃機関	375	19.7	1.0	陸用内燃機関	411	▲ 4.1	1.0	0.87
医療機械	305	6.2	0.9	医療機械	369	6.7	1.0	ベアリング	398	5.7	1.0	1.08
繊維機械	164	30.2	0.5	繊維機械	308	53.1	0.8	繊維機械	304	31.6	0.7	1.07
農業機械	143	11.7	0.4	農業機械	163	1.8	0.4	農業機械	183	4.7	0.4	0.81
産業車両	103	10.6	0.3	産業車両	127	15.1	0.3	産業車両	128	▲ 0.9	0.3	0.48
19業種合計	31,905		96.0	19業種合計	36,112		96.7	19業種合計	39,716		96.7	0.77

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～半導体製造装置、産業用ロボット等が大幅増、金属加工機、船舶が大幅減～

1) 3月で10%以上の伸び率を示した機種は、①NIES/ASEAN、中国、北米向け**半導体製造装置**(42.7%増:7ヶ月連続二桁)、②北米、NIES/ASEAN 向け**産業用ロボット**(32.2%増)、③中国、その他地域、NIES/ASEAN 向け**繊維機械**(31.9%増:14ヶ月連続二桁)、④NIEA/ASEAN 向け**運搬機械**(31.0%増)、⑤北米、EU等向け**TV**(28.3%増:6ヶ月連続二桁)、⑥NIES/ASEAN、中国向け**電池**(12.7%増)、⑦その他地域、北米向け**乗用車**(12.3%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、金属加工機械(20.7%減)、船舶(17.9%減)、建設機械(14.1%減)、電子応用装置(11.9%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2014/1			2014/2			2014/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,204	67.6	発電機	135	64.3	半導体製造装置	1,425	42.7
産業用ロボット	94	35.8	半導体製造装置	1,374	60.0	産業用ロボット	138	32.2
TV	94	35.4	繊維機械	308	53.2	繊維機械	304	31.9
建設機械	860	30.8	産業用ロボット	118	39.0	運搬機械	357	31.0
繊維機械	164	30.6	磁気カード・ディスク等	164	25.8	TV	110	28.3
ベアリング	356	30.2	TV	94	24.2	電池	218	12.7
通信機械	457	25.5	時計	79	22.8	乗用車	7,800	12.3
運搬機械	222	17.7	ベアリング	387	20.5	機種合計	10,352	25.2%
乗用車	6,850	16.0	陸用内燃機関	375	19.7			
バルブ・コック	333	13.7	原動力機械	514	18.8			
機種合計	10,634	32.0%	機種合計	3,548	9.5%			

は、2ヶ月連続で上位機種 ・機種合計の%は輸出額に占める割合
運搬機械:クレーン、ウインチ、エレベーター等

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2014/1			2014/2			2014/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	56	▲45.3	録画・再生機器	7	▲44.8	金属加工機械	345	▲20.7
船舶	1,579	▲31.2	機種合計	7	0.0%	船舶	1,856	▲17.9
原動力機械	329	▲22.8				建設機械	1,163	▲14.1
デジカメ・ビデオ	289	▲15.8				電子応用装置	55	▲11.9
金属加工機械	204	▲11.1				機種合計	3,419	8.3%
機種合計	2,457	7.4%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 ・機種合計の%は輸出額に占める割合
電子応用装置:電子顕微鏡等

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、携帯電話が大幅増～

1) 3月の機械輸入伸び率は30.9%増と12ヶ月連続二桁増となり、円高是正効果と国内需要増を反映して高い伸びとなった。これは、輸入上位機種である電子デバイス(46.4%増)、電子計算機(30.2%増)、携帯電話(49.4%増)が大幅に増加したほか、自動車部品(49.0%増)、医療機械(36.9%増)、航空機類(47.4%増)、分析・試験・検査機(32.5%増)が30%以上の増加となったためである。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、医療機械、白物家電、航空機類、TV、時計、ラジオ、録画・再生機器、写真機となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の44%を占める中国(34.1%増)、EU(38.9%増)、ASEAN(21.9%増)、北米(29.3%増)、韓国・台湾(19.5%増)、その他地域(38.5%増)の順となり、全ての地域からの輸入が二桁増以上であった。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2014/1				2014/2				2014/3			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,578	58.0	12.1	電子デバイス	2,123	43.2	12.3	電子デバイス	2,641	46.4	12.4
電子計算機	2,537	31.1	11.9	電子計算機	2,012	18.3	11.7	電子計算機	2,618	30.2	12.3
携帯電話	1,415	4.4	6.6	携帯電話	1,131	2.1	6.6	携帯電話	1,593	49.4	7.5
自動車部品	1,169	55.7	5.5	乗用車	977	84.5	5.7	乗用車	1,080	20.2	5.1
乗用車	926	13.6	4.3	自動車部品	918	38.9	5.3	自動車部品	1,058	49.0	5.0
白物家電	799	41.3	3.8	医療機械	689	27.0	4.0	医療機械	821	36.9	3.9
航空機類	701	78.5	3.3	白物家電	594	34.0	3.4	白物家電	750	21.6	3.5
医療機械	651	21.9	3.1	航空機類	479	18.6	2.8	航空機類	704	47.4	3.3
民生用電子部品	420	40.7	2.0	分析・試験・検査機	409	15.9	2.4	分析・試験・検査機	449	32.5	2.1
分析・試験・検査機	412	44.8	1.9	TV	320	63.3	1.9	光学機械	391	16.7	1.8
光学機械	369	12.0	1.7	光学機械	312	6.8	1.8	民生用電子部品	379	24.8	1.8
TV	351	62.5	1.6	民生用電子部品	307	19.4	1.8	TV	314	16.1	1.5
12機種合計	12,328		57.9	12機種合計	10,271		59.5	12機種合計	12,798		60.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械